

極北の原野で犬たちと暮らし マッシャー(犬ゾリ使い)となる夢を實現

2月29日、植村直己さんの母校の明治大学紫紺館(東京都千代田区)で、2015「植村直己冒険賞」受賞者発表の会見を行いました。

今回は、2015年に日本人が挑んだ157件の冒険行の中から、知己のないカナダにたった一人で飛び込み、17年間犬たちと暮らし、マッシャー(犬ゾリ使い)になる夢をかなえた本多有香さん(43歳、カナダ在住)を選びました。

本多さんは、大学時代に旅行したカナダで犬ゾリに出会い「自分が育てた犬たちと走



©佐藤日出夫
ほんだ ゆか
本多有香さん

マッシャー(犬ゾリ使い)
1972年・新潟県生まれ
カナダ・ホワイトホース在住

岩手大学農学部を卒業。大学時代にカナダで犬ゾリに出会い、その魅力の虜になる。日本でいったん就職するが、1998年、マッシャーになるため単身カナダに渡る。2002年、長距離マッシャーを目指し、カナダからアラスカまで自転車で走る。2006、07、09年に犬ゾリレース「ユーコンクエスト」に挑戦するも完走ならず、2012年に初めて完走する。カナダ・ホワイトホース郊外で、現在、27頭の犬と共に暮らす。

りたいー」という素朴な夢を抱き、たった一人でカナダに渡りました。森を切り開き、自身の住む家と26頭の犬たちの小屋を作り、雪の季節になると原野を犬たちと共に走ります。国際的な犬ゾリレース「ユーコンクエスト」と「アイデイタロッド」では、日本人女性として初めて完走しました。

これからも犬たちと楽しく暮らしていきたいです」と喜びの言葉を述べました。

選考委員の西木正明さんは「生活そのものを冒険にしてみました。人生をかけて、続けることで夢を實現する。そんな新たな冒険のあり方を示された」と受賞の理由を話しました。

授賞式は、6月11日(土)に日高文化体育館で行います。冒険賞の授与の他、本多さんの講演も行います。

《問合せ》植村直己冒険館
☎44-115115



©佐藤日出夫

▲アラスカの原野を犬たちと走る本多さん

カナダで犬ゾリと出会う

大学時代の1994年、カナダのイエローナイフにオーロラを見に行った時に、雪原を駆ける犬ゾリを見て感激。喜んで走っている犬たちを見て心を奪われました。これが本多さんの人生を変えた瞬間でした。大学卒業後にいったんは就職したものの、犬ゾリへの思いは募るばかり。仕事を辞め1998年9月、単身カナダに渡りました。



▲受賞の喜びを語る本多さん(東京・明治大学)

らったベテランのマッシュヤー(犬ゾリ使い)に弟子入りしました。そこから犬を育て、ソリを扱うすべてを学ぶハンドラー修行(マッシュヤーの見習い)として、犬の世話全般を行うのが始まりでした。

犬たちの小屋と

自分の家を手作り

2009年8月、ホワイトホースの森の一角を借り受け、自力で切り開き、26頭の犬たちの小屋と自身が住む家を組み立てました。夢だった自前の家は、そばにずらりと並ぶ全ての犬小屋の入口と向かい合い、お互いの顔がすぐ見えるようになっていきます。



▲東京会場の本多さんにお祝いメッセージを贈る上杉真由さん(府中小学校)

水道が通っていないため、水は車を使って近くの施設から運びます。電気はソーラーパネルで発電しますが、冬は日照時間が短いためろうそくが欠かせません。不自由な暮らしも犬たちとなら素直に受け入れられるといいます。

犬ゾリができない夏に稼ぐ

本多さんはスポンサーに頼らず、資金の全てを自身で稼いでいます。その資金は犬たちのために使うのが第一優先です。元気な犬たちへの食事には大金をはたき、人間の食事はおのずと儉約されます。カナダ永住権が取れるまでは、夏に必ず日本に帰って、



▲犬たちと暮らす生活(カナダ・ホワイトホース) ©佐藤日出夫

あらゆる仕事をしてお金をためました。主に塾講師をしながら、引越し屋、花火打上げ師、カニ売り、ひげそり売りなど、変わったアルバイトも多数経験しました。2010年にはカナダ永住権を取得し、現在はホワイトホース近くでビル管理の仕事をしています。

日本人女性初

北米2大犬ゾリレース完走

犬の訓練を兼ねて、アラスカ・カナダを舞台に開催される犬ゾリレースにも参加します。2012年2月、最も過酷な犬ゾリレースと呼ばれる「ユーコンクエスト」1600kmに出場し、4度目の挑戦で



▶アイディタロッド ゴール

©佐藤日出夫

初の完走を果たしました。また、2015年3月には、世界最大の国際犬ゾリレース「アイディタロッド」に挑戦し、強烈な寒波の襲来で、氷点下50度以下の低温や猛吹雪の中、完走を果たしました。いずれもレース完走は日本人女性として初めての快挙です。厳冬の山道や凍った川、深い森、荒涼としたツンドラ地帯、風が吹き付ける氷点下の海岸沿いを通る過酷なコースを、自身が育てた犬たちと共に走り抜きました。

とにかくがむしゃらに

夢を追う

大好きな犬たちと、大自然の中を一緒に冒険できたらどんなに楽しいだろう。生活の全てを夢に賭け、笑いながら泣きながら、前へ突進していく犬ゾリ一色の人生。そここそが本多さんの冒険家としてのライフスタイルです。冬のアラスカは氷点下20〜30度の世界。鼻水で両頬を凍傷にしながらも、一心に熱き魂をマッシュヤーに賭ける青春は、多くの若者や女性たちに勇気を与えてくれます。